

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金（効果検証）

（単位：千円）

事業番号	事業名称	事業概要	経済対策との関係	総事業費	交付金 充当経費	事業始期	事業終期	実施状況	事業効果
1	新型コロナウイルス感染症対策臨時給付金	・新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク・消毒剤購入費用などの家計の新たな負担に対し給付金を支給する。	I-1、マスク・消毒液等の確保	25,455	25,455	R2.6.5	R2.8.18	・町民5,091人に対し1人当たり5千円を給付	・新型コロナウイルス感染症流行下における家計の新たな負担に対する軽減が図られた。
2	新型コロナウイルス感染症対応防災備品購入事業	・台風などの災害発生時における新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のための備品を購入する。	I-1、マスク・消毒液等の確保	5,683	2,600	R2.4.15	R3.3.22	・アクリルパーテーション、マスク、ワンタッチテント、フェイスシールド、非接触型温度計などを購入	・台風などの災害発生時においても新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に努めながら避難所の開設が出来るよう環境が整った。
3	プレミアム付き商品券事業	・町内での経済活動を活性化させるため、従来10%のプレミアム付き商品券事業を25%のプレミアムに増やし事業を実施する。	Ⅲ-2、地域経済の活性化	12,884	12,883	R2.6.3	R3.2.25	・町民821人が購入し、町内事業所において50,000千円が消費された。	・新型コロナウイルス感染症により負担を強いられる家計を応援するとともに、低迷する地域経済活性化に資する取組となった。
4	飲食店支援クーポン券事業	・特に被害の大きかった飲食店の経済活動の底上げを図るため町の広報紙にクーポン券を添付し消費を喚起する。	Ⅲ-2、地域経済の活性化	2,637	2,636	R2.6.3	R3.2.25	・1世帯当たり2千円の町内飲食店で使用できるクーポンを配布し、1,992千円が消費された。	・新型コロナウイルス感染症により負担を強いられる家計を応援するとともに、低迷する地域経済活性化に資する取組となった。
5	おふくろの駅宅配事業化に向けた補助事業	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるおふくろの駅の売り上げの減少対策、買い物に不自由している高齢者に対する支援として宅配事業などの機能強化を実施する。	Ⅲ-2、地域経済の活性化	7,932	7,931	R2.5.29	R3.3.19	・軽トラック低温冷凍庫（1台）を購入	・高齢者の自宅近くまで移動することが可能となり、また低温冷凍庫を搭載することにより、食品等の配送が可能となったことから、新型コロナウイルス感染症拡大防止に資する取組となった。
7	公立学校情報通信機器整備事業	・小中学校児童生徒に対して1人1台のタブレット整備及び環境整備支援	Ⅳ-3、リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	32,958	21,748	R2.6.12	R3.3.31	・町立小中学校の生徒に対し、タブレット（情報機器端末）を配備	・新型コロナウイルス感染症の流行下においても、オンライン授業や対話的な授業の実施が可能となった。
8	遠隔地在学中の学生生活支援	・親元を離れて就学する学生の生活を支援するため、一人につき20千円を給付する。	Ⅱ-4、生活に困っている世帯や個人への支援	2,620	2,620	R2.6.16	R2.9.11	・親元を離れて就学する学生131人に対し1人当たり20千円を給付	・新型コロナウイルス感染症の影響により負担増となった遠隔地に就学する学生に対し、その負担軽減に努めた。
9	ふいどの応援（エール）商品券事業	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低迷している町の経済活動を活性化させるため、商品券を配布する事業を実施する。	Ⅲ-2、地域経済の活性化	26,008	26,007	R2.9.25	R3.3.12	・町民5,054人に対し1人当たり5千円相当の商品券を配布し、町内において24,769千円が消費された。	・新型コロナウイルス感染症により負担を強いられる家計を応援するとともに、低迷する地域経済活性化に資する取組となった。
10	農業経営継続支援事業	・新型コロナウイルス感染症により、生産工程に新たな対策を必要としている農産物（米・山菜）について、生産者の意欲低下防止、経営継続のための支援を行う。	Ⅱ-3、事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	13,014	13,013	R2.10.9	R3.3.2	・町内の水稲農家に主食用米生産支援として8,676千円助成 ・町内の山菜生産農家に種苗・出荷支援として4,338千円助成	・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内水稲農家及び山菜生産農家の経営継続支援に資する取組となった。
11	新型コロナウイルス感染症対策支援交付金	・福島県新型コロナウイルス感染症対策支援交付金の交付対象者に対し、10万円を交付し感染拡大防止対策へ支援を行う。	Ⅱ-3、事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	2,600	2,600	R2.11.5	R3.2.19	・町内26事業者に対し1事業者当たり10万円を給付	・新型コロナウイルス感染症流行下における事業者に対する負担軽減が図られた。
12	町中小企業借入金利子補給金	・町内の中小企業者に対し、借入金の利子補給を行い、事業継続を促す。	Ⅱ-3、事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	4,474	4,473	R2.4.1	R3.3.31	・借入をしている中小企業に対し、借入金の利子1%分を補助	・新型コロナウイルス感染症流行下における借入金を有する事業者に対する負担軽減が図られた。
14	汎用コンバイン導入事業	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、外食産業などの消費が落ち込み農産物の価格が落ち込んでいる農家に対し、汎用コンバイン及び色選機を購入し貸し出すことによって農業経営の負担を軽減する。	Ⅱ-3、事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	15,620	13,568	R2.9.17	R4.3.31	・普通コンバイン、汎用コンバイン備品及び色選機などを購入	・新型コロナウイルス感染症流行下における農家の新たな負担に対する軽減が図られた。
15	感染症予防対策事業	・8月3日以降県外から帰省する学生に対し、希望するPCR検査の費用を補助する。併せて、感染症対策の観点から町民に対しインフルエンザ予防接種の費用を負担し、感染症の拡大による医療機関のひっ迫を抑える。	I-2、検査体制の強化と感染の早期発見	2,100	1,485	R2.9.15	R3.3.5	・PCR検査を実施した学生41人に対し検査費用を助成 ・インフルエンザ予防接種を接種した町民374人に対し接種費用を助成	・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に資する取組となったとともに、インフルエンザの流行防止に努めた取組となった。

16	新型コロナウイルス感染症対策放課後児童クラブ備品購入事業	・新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、小学生が利用する放課後児童クラブの備品を購入する。	I-1. マスク・消毒液等の確保	573	572	R2.10.26	R2.12.21	・折り畳みテーブルや軽量畳、タイルカーペットなどを購入	・本備品購入により児童クラブ内での密になる状況を防止出来たことから、新型コロナウイルス感染症拡大防止に資する取組となった。
17	新型コロナウイルス感染症対策在宅独居高齢者訪問等支援事業	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の継続を促すため、不要の外出を避け自宅で過ごす独居高齢者、高齢者世帯の日常の状況把握のため訪問する民生児童委員の活動に対しマスク・消毒液・訪問のための消耗品等購入費用として補助金を交付する。	I-1. マスク・消毒液等の確保	1,936	1,404	R2.4.1	R3.3.31	・古殿町民生委員協議会の民生委員26人に対し活動費用として1人当たり5,400円を支援	・新型コロナウイルス感染症流行下においても感染拡大防止に努めながら継続して民生委員活動に取り組めた。
18	新型コロナウイルス感染症対策在宅高齢者介護者支援事業	・新型コロナウイルス感染症拡大防止継続を促すため、要介護3以上の高齢者を在宅で介護する家族に対し、感染症予防のためのマスク等の購入費用を支援する。	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	974	690	R2.5.7	R3.3.31	・要介護3以上の高齢者を在宅で介護する家族59名に対し介護用品給付券（1月3,000円）を交付。総件数327件の使用があった。	・新型コロナウイルス感染症流行下における要介護3以上の高齢者を在宅で介護する家計の新たな負担に対する軽減が図られた。
19	社会福祉協議会補助金（コスモス荘施設整備事業分）	・現在建設中であるデイサービスセンター（コスモス荘）について、新型コロナウイルス感染症対策のため整備する備品購入経費の一部を補助し、感染防止に努める。	IV-4. 公共投資の早期執行等	36,234	12,879	R2.4.1	R3.3.31	・町社会福祉協議会に対し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために整備する備品購入経費の一部を助成	・新型コロナウイルス感染症の流行下において職員や利用者が安心して施設を利用できる環境が整った。
20	給食センター環境改善事業	・新型コロナウイルス感染症対策のため給食センターの環境を改善する。	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	62,879	3,472	R2.4.1	R3.3.31	・給食センターに配備する工場扇風機、衣類乾燥機などを購入や水栓設備の自動水栓化を実施した。	・新型コロナウイルス感染症の流行下において、給食センター職員等が感染予防対策を徹底しながら調理が行える環境を整備した。
21	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ・児童生徒の学習保障のために必要な感染症対策に係る経費を補助する。	I-1. マスク・消毒液等の確保	2,099	1,000	R2.11.19	R3.2.17	・町立小中学校に配備する不織布マスク、手指消毒液、電子体温計、プラスマクラスター空気清浄機などを購入	・学校施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止に資する取組となった。
22	学校臨時休業対策費補助金	・令和2年3月の学校一斉臨時休校に伴う給食センターに対する違約金を負担し、給食センターの負担軽減を図る。	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	254	63	R2.6.29	R2.7.22	・臨時休校に伴う給食センターに対する違約金にかかる地方負担分について助成	・新型コロナウイルス感染症の流行下における臨時休校に伴う米飯・めん・パン事業者及び牛乳販売業者の負担の軽減が図られた。
24	指定避難所の機能強化	・避難所はラジオの電波が弱く、情報収集は個人のスマートフォンなどであったが、電源の供給が難しく、大きめのテレビを設置することにより密集を避け、大勢の避難者へ情報を届けることができる。	I-6. 情報発信の充実	433	432	R2.10.9	R2.11.5	・避難所（町公民館及び町民体育館）に配備する大型テレビを2台購入	・避難所において密を回避しながら、避難者が情報収集することが可能となり、新型コロナウイルス感染症拡大防止に資する取組となった。
25	生活環境改善事業	・定期的に地域住民が集まり、道路脇の雑草の刈払いなどを行ってきた。新型コロナウイルス対策のため集団での作業が困難になったが、主要都市を結ぶ道路の中間に位置する当時の道路網は物流や経済を支える重要なものとなっているため、重機を購入し環境の維持に努める。	III-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	12,847	12,100	R2.11.24	R3.3.31	・バックホウ（1台）及び刈払い用アタッチメントなどを購入	・新型コロナウイルス感染症の流行下においても密を回避しながら生活環境の維持管理が行える環境を整備した。
26	指定避難所の機能強化	・避難所の給水機能の強化を図り感染拡大を防止するため、移動・設置が可能な給水設備を整備する。	I-1. マスク・消毒液等の確保	275	275	R2.11.2	R2.12.11	・避難所に配備する給水タンクを購入	・新型コロナウイルス感染症流行下において、3密回避のために分散避難することが想定される中、それぞれの避難所において必要となる給水機能を確保する環境が整備された。
27	関係人口創出事業	・新しい仕事の在り方の一つであるワーケーション導入に向けて、町所有の古民家「大網庵」を改修する。	III-2. 地域経済の活性化	1,896	1,895	R3.7.30	R4.3.31	・町集会所「大網庵」の用途変更に伴う申請手続き及び設計書作成業務の実施	・コロナ禍における新しい働き方の一つである「ワーケーション」の導入に向けて町施設の用途変更について検討を進める取組となった。
28	新型コロナ等感染症予防対策事業	・公共施設での新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、避難所へのシャワー設備設置、公共施設の水栓設備の改修及び公共施設の換気対策として網戸設置工事を実施する。	IV-4. 公共投資の早期執行等	13,965	13,703	R2.12.25	R4.1.25	・避難所（町民体育館）にシャワー設備を4箇所（男女2箇所ずつ）設置 ・公共施設（12施設）に設置してある水栓設備のうち258個をシングルレバー化、5個を自動水栓化	・新型コロナウイルス感染症予防対策として、公共施設のうち、多くの町民が利用する公民館や運動場、公園など12施設に設置してある水栓設備のうち、263個の蛇口をシングルレバー化又は、直接手で触れないようにすることにより新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。
29	新型コロナウイルス対応ネットワーク環境構築事業	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や災害時の業務継続のため、職員の在宅勤務、分散型の業務体制を整えるためネットワークの環境整備、紙によらない文書管理環境の整備を実施する。	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	45,987	45,985	R2.12.14	R4.3.31	・公共施設（6施設）に45箇所のWifiアクセスポイントを設置 ・町役場職員のテレワーク環境整備（10アカウント分） ・文書管理ソフトの導入によるペーパーレス化の実施	・新型コロナウイルス感染症により分散して業務を行う場合に対応出来る環境を整備した。
31	地域交通最適化に向けた支援業務	・新型コロナウイルスの影響を受け、生活環境に変化が生じていることに対応し、地域の公共交通等の見直しを実施する。	III-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	4,862	4,862	R2.4.17	R3.10.29	・古殿町における新たな公共交通の在り方について検討をするため、運行計画作成等を実施	・ポストコロナを見据えた町内における新たな公共交通の在り方について、検討を進めることが出来た。

32	地方バス路線維持対策事業補助金	・新型コロナウイルス感染症対策に係る公共交通機関の負担に対し支援を行い、継続的に公共交通を運営する。	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	25,238	25,237	R3.1.26	R3.3.31	・町内を運行する公共交通事業者に対し、運行継続に係る費用を助成	・新型コロナウイルス感染症の流行下においても、感染対策を行いながら、町内4路線のバス運行が継続された。
33	子ども・子育て支援交付金	・放課後児童クラブでは、小学校の臨時休校時には特別開所（朝から1日預かり）を実施した。	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	1,558	70	R2.5.1	R2.6.12	・小学校の臨時休校に伴い、令和2年4月から5月のうち16日間、放課後児童クラブの特別開所を実施した。	・新型コロナウイルス感染症の流行下における子育て世帯の負担軽減に資する取組となった。
34	公立学校情報機器整備費補助金	・緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備のため、学校からの遠隔学習機能の強化を図る。	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	62	31	R2.10.14	R2.12.11	・町立小中学校に配備するWEBカメラ（マイク・スピーカー機能付）2台を購入	・新型コロナウイルス感染症流行下において、緊急時に家庭でのオンライン学習が出来る環境が整備された。
35	疾病予防対策事業費等補助金（新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業に限る）	・一定の高齢者及び基礎疾患を有する者は、新型コロナウイルス感染症に感染した場合に重症化するリスクが高く、死亡者や重症化の増加とそれに伴う医療提供体制の逼迫につながる可能性があることから、重症化するリスクの高い高齢者等の希望により検査を実施する場合、その検査費用の一部を助成する。	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	30	15	R2.12.25	R3.1.25	・PCR検査を実施した対象者2名に対し検査費用を助成	・新型コロナウイルス感染症流行下における感染拡大防止に資する取組となった。
36	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ・児童生徒の学習保障のために必要な感染症対策に係る経費を補助する。	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	131	66	R2.8.3	R2.10.29	・町立小中学校に配備する非接触温度計（各6台）、不織布マスク（50枚入×10箱）及び手指消毒液（4L×4個）を購入	・学校施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止に資する取組となった。